

製品名: プラゲミン (リン酸化 Tyr413) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab05301**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	175kDa

抗原情報

遺伝子名	SGK223
別名	SGK223; Tyrosine-protein kinase Sgk223; Sugen kinase 223
遺伝子 ID	157285.0
SwissProt ID	Q86YV5
免疫原	ヒトプラゲミンのリン酸化部位 (リン酸化 Tyr413) 周辺の合成リン酸化ペプチド

背景

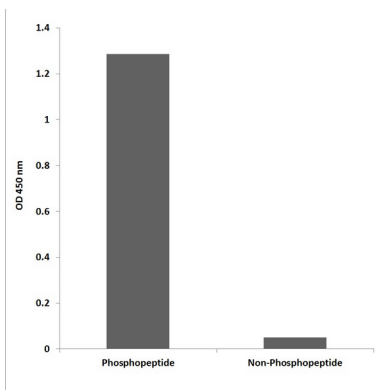
この遺伝子はチロシンプロテインキナーゼファミリーに属する酵素をコードしています。ラットでは類似のタンパク質が Rho ファミリー GTPase 2 (Rnd2) に結合し、Ras ホモログ遺伝子ファミリーのメンバー A (RhoA) の活性化を介して神経突起の伸展を制御し

ます。[RefSeq 提供、2014年3月],触媒活性: $ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシンリン酸$ 。類似性: プロテインキナーゼスーパーファミリーに属します。類似性: 1つのプロテインキナーゼドメインを含みます。、

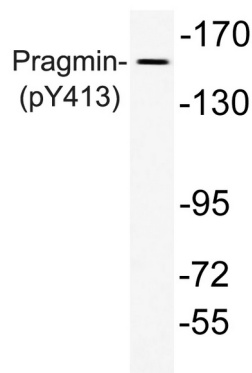
研究分野

-

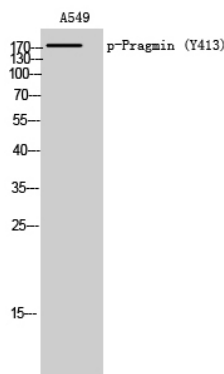
画像データ



プラグミン (リン酸化 Tyr413) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



リン酸化プラグミン (Phospho-Tyr413) 抗体を用いた、A549 細胞の溶解液のウェスタンブロット分析。



ホスホプラグミン (Y413) ポリクローナル抗体を用いた A549 細胞のウェスタンブロット解析